

2026 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 山口 琢也
(コード番号：6635 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 渡辺 武典
電話 (0288) 26-3930

弊社キューブサット本運用開始について

弊社のキューブサット（超小型人工衛星）「バッテリー異常検知システム実証衛星Mono-Nikko」（別図、注1、注2）は、2026年6月18日に無線局免許状が交付され、正式に本運用（注3）を開始いたしましたので、ご報告いたします。

衛星打上げから本運用開始までの期間において、試験電波による搭載機器のチェックアウト及びミッションデータの取得を実施し、別表の通り本衛星のサクセスクライテリア（成功基準）におけるミニマムサクセスをすべて達成いたしました。

今後も「バッテリー異常検知システム」ならびに、中核をなす「超小型宇宙機用インテリジェント電源ユニット」の軌道上実証を実施してまいります。

なお、本衛星の開発結果及び運用状況につきましては、本年11月に宇都宮で開催される第70回宇宙科学技術連合講演会にて報告いたします。

- (注1) JAXA革新的衛星技術実証4号機の実証テーマの1つとして、2026年4月23日12時9分（日本標準時、24時間表記）に、ニュージーランドのマヒア半島にあるRocket Lab社の第1発射施設（Launch Complex 1）より同社のロケットElectronにより打ち上げられ、約53分後に軌道投入されました。
- (注2) 本衛星に搭載した「バッテリー異常検知システム」の開発は、とちぎグリーン成長産業創出支援基金事業（令和4年度、令和5年度）栃振セ第287号、栃振セ第318号の助成を受けて実施されました。
- (注3) 本衛星は、帝京大学宇宙機研究開発センター実験試験局にて共同運用されています。また、これまでの試験運用より本衛星の2行軌道要素（TLE）は、カタログ番号（NORAD ID）68799、国際識別符号（International Designator）2026-088Hであると特定しています。

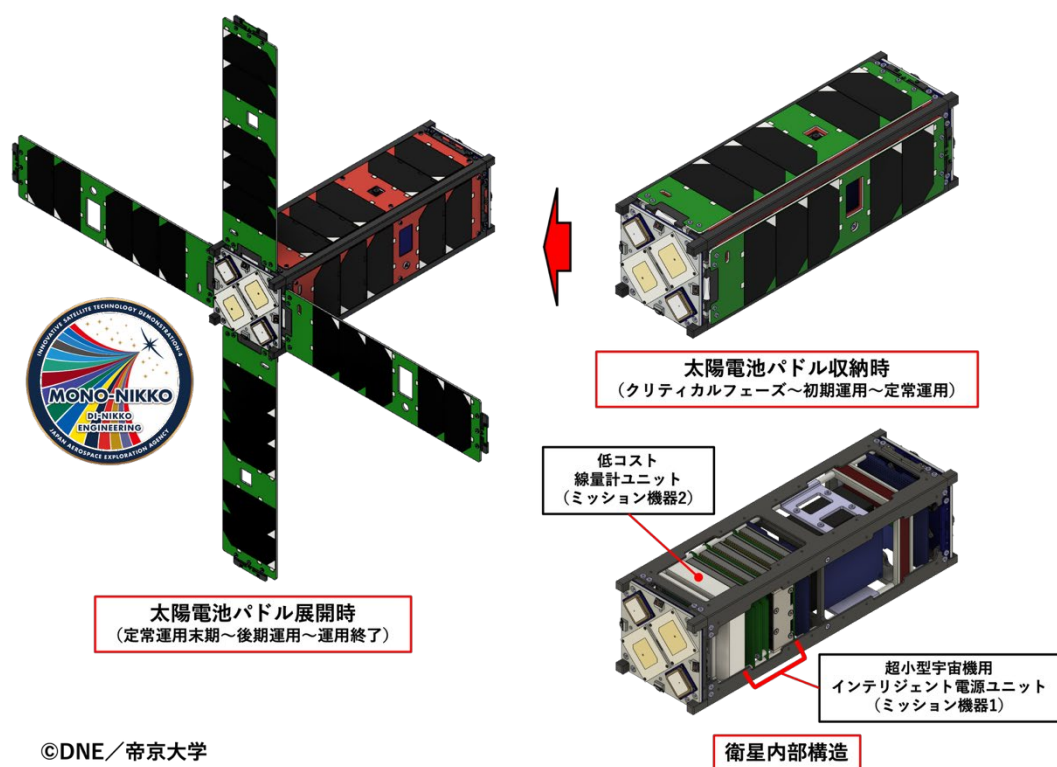
本件に関する問い合わせ窓口

部 門： 設計開発部 衛星・宇宙設計開発課

担当者： 岡本篤（おかもとあつし）

連絡先： (0288) 26-3930

以 上



©DNE／帝京大学

別図 バッテリ異常検知システム実証衛星Mono-Nikkoの衛星外観モデル図

別表 バッテリ異常検知システム実証衛星Mono-Nikkoのサクセスクライテリア（成功基準）

分類	内容	達成状況
ミニマム サクセス	☒ 超小型宇宙機用インテリジェント電源ユニット（※1）の健全性確認 ☒ 低コスト線量計ユニット（※2）の健全性確認 ☒ 初期電気化学インピーダンス計測成功 ☒ Sバンド回線による初期電気化学インピーダンス取得成功 ☒ 民間衛星通信を介したバッテリーデータ取得成功	Closed （初期運用フェーズ終了時点で全て達成）
フル サクセス	☐ 超小型宇宙機用インテリジェント電源ユニットのトレンドデータ取得・蓄積 ☐ 低コスト線量計ユニットのトレンドデータ取得・蓄積 ☐ 定期的な電気化学インピーダンス計測・取得成功 ☐ バッテリーの内部状態推定（異常検知）成功	Open （定常運用フェーズにて判断）
エクストラ サクセス	☐ 超小型宇宙機用インテリジェント電源ユニットの長期的なトレンドデータ取得・蓄積 ☐ 低コスト線量計ユニットの長期的なトレンドデータ取得・蓄積 ☐ バッテリーの高負荷運用成功 ☐ 長期的な電気化学インピーダンス取得・蓄積 ☐ バッテリーの異常・故障の予兆検知成功	Open （後期運用フェーズにて判断）

（※1）弊社開発品，（※2）帝京大学宇宙機研究開発センター開発品